

令和6年能登半島地震 被災地へ第2班救護班と日赤災害医療コーディネートチームを派遣しました

日本赤十字社三重県支部は、能登半島地震災害被害者の救護活動にあたるため、伊勢赤十字病院職員を中心とした、日本赤十字社三重県支部救護班第2班医療救護班と日赤災害医療コーディネートチームを令和6年1月13日から日赤石川県支部へ派遣しました。

今回派遣する第2班医療救護班は、伊勢赤十字病院の医師1名、看護師長1名、看護師2名、主事2名、支部職員1名の7名編成で、石川県支部の指揮下に入り珠洲市で活動予定です。また、日赤災害医療コーディネートチームは医師1名、看護師1名、主事2名の4名編成で、被災地の保健医療ニーズを把握し、救護班の活動等に関して、医療の専門的観点から災害対策本部などの調整を行います。

